

1. 科目名 (単位数)	社会教育課題研究 (4 単位)		3. 科目番号	SSMP4304
2. 授業担当教員	川野 佐一郎			
4. 授業形態	学生各人が研究課題を設定し、グループ討議等により調査研究を行いながら論文をまとめる。		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	<p>生涯学習時代を迎え、学校以外の場である家庭や職場、地域等において様々な学習活動が展開されている。これらの学習活動への支援は、社会教育としてとらえられる。</p> <p>本授業では、社会の多様な領域、形態で行われている生涯学習・社会教育活動とそうした活動を支援する生涯学習・社会教育施策について検討するとともに、受講者が研究課題を設定し、調査・研究活動を行う。研究課題に関する調査・研究の途中結果を2ないし3回報告していただき、授業内で討議し、学期末に最終レポートを作成していただく。</p>			
8. 学習目標	<p>次の目標の達成に努める。</p> <p>① 学校以外の場で展開されている様々な学習活動についての知識を身につける。</p> <p>② その学習活動を支援するのが社会教育であることを理解し、説明することができる。</p> <p>③ 特に実習先等の施設における人々の学習支援活動(社会教育)の状況を把握するとともに、学習活動支援の問題・課題を的確にとらえ説明することができる。</p> <p>④ その問題・課題について研究・協議し、レポートとして適切にまとめることができる。</p>			
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	<p>① わが国社会教育の歴史を時代区分とともに的確にとらえ、その変遷について理解する。</p> <p>② 社会教育事業の企画・立案・運営・実施・評価に関わる基礎的・技術的な方法を取得する。</p> <p>③ 各自の問題関心・学習課題に即して地域社会での社会教育実践をいかに効率よく進めるか、グループワークによって身につける。</p>			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】千野陽一監修『現代日本の社会教育』エイデル研究所、2015。</p> <p>【参考書】廣瀬隆人ほか著『生涯学習支援のための参加型学習のすすめ方』ぎょうせい、2004。 片野親義『公民館職員の仕事－地域の未来づくりと公民館の役割』(ひとなる書房)2015。</p> <p>【教材】プリント資料(必要に応じて作成し授業時に配布)。</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 社会教育に関する理念・社会的役割について理解し、具体的に説明できる力を身につけたか。(知識・理解)</p> <p>2. 社会教育に関する現代的課題について自ら主体的に研究し、対象者に合わせて、適切なテーマを設定した上で学習講座等を企画・開催できる力を身につけたか。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>○評定の方法</p> <p>【授業への取り組み姿勢、授業内での課題提出、期末レポート等を総合して評価する。】</p> <p>1. 授業への取り組み姿勢 総合点の20%</p> <p>2. 授業内での課題提出(課題レポート) 総合点の30%</p> <p>3. 期末レポート(研究成果発表含む) 総合点の50%</p>			
12. 受講生へのメッセージ	<p>授業内の相互学習を踏まえ、可能な限り、社会教育実践の現場に足を運び、住民・社会教育職員とともに学習を深めていく機会をつくるようアドバイスする。理論的な学習とともに、実際の社会教育活動から得られる多くのヒントは貴重なものである。即戦力として必要な知識と技術的な力量を高めてほしい。</p>			
13. オフィスアワー	<p>授業前後の休憩時間ほか</p>			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	ガイダンス(授業のねらいと進め方について) —学習者の学習動機、要求課題と必要課題—	事前学習	シラバスの内容について理解する。	
		事後学習	学習者が発する要求課題と学習支援者による必要課題を整理する。	
第2回	社会教育の理念と法制度 —社会教育の枠組み、領域の基本的理解—	事前学習	社会教育法の成立過程と目的を調べる。	
		事後学習	社会教育の理念を背景とする法制度を整理し、まとめる。	
第3回	市民の自主的な学習活動の促進 —自己教育、相互教育としての社会教育—	事前学習	学校教育との相違点を調べる。	
		事後学習	おとなが学ぶ意味について、その特質をとらえ理解する。	
第4回	ノンフォーマル教育の可能性	事前学習	地域における多様な学びの場・機会を考える。	
		事後学習	ノンフォーマル教育とは何か、その特色について理解する。	
第5回	社会教育施設の現状と課題	事前学習	社会教育施設の置かれた現状をとらえ、機能とあり方について調べる。	
		事後学習	市民の自主的な学びの場である社会教育施設の役割は何かを考える。	
第6回	社会教育主事など学習支援者の専門性	事前学習	社会教育における専門職の持つべき資質、能力について調べる。	
		事後学習	学習支援者に期待されている専門性とは何かについて整理し、まとめる。	

第7回	学習支援と実践分析 —文献研究・発表・演習の方法、内容を決定—	事前学習	文献研究を中心とした演習、発表の場について必要事項を調べる。
		事後学習	歴史研究にあたって留意すべき点を整理し、まとめる。
第8回	わが国社会教育の歴史研究(1) —『現代日本の社会教育』第1章—	事前学習	第1章の主要な視点はなにか、特に重要な記述について調べる。pp.23～45
		事後学習	時代的な背景と歴史的な経過について整理し、まとめる。
第9回	わが国社会教育の歴史研究(2) —『現代日本の社会教育』第2章—	事前学習	第2章の主要な視点はなにか、特に重要な記述について調べる。pp.47～76
		事後学習	時代的な背景と歴史的な経過について整理し、まとめる。
第10回	わが国社会教育の歴史研究(3) —『現代日本の社会教育』第3章—	事前学習	第3章の主要な視点はなにか、特に重要な記述について調べる。pp.77～106
		事後学習	時代的な背景と歴史的な経過について整理し、まとめる。
第11回	わが国社会教育の歴史研究(4) —『現代日本の社会教育』第4章—	事前学習	第4章の主要な視点はなにか、特に重要な記述について調べる。pp.107～140
		事後学習	時代的な背景と歴史的な経過について整理し、まとめる。
第12回	わが国社会教育の歴史研究(5) —『現代日本の社会教育』第5章—	事前学習	第5章の主要な視点はなにか、特に重要な記述について調べる。pp.141～173
		事後学習	時代的な背景と歴史的な経過について整理し、まとめる。
第13回	わが国社会教育の歴史研究(6) —『現代日本の社会教育』第6章—	事前学習	第6章の主要な視点はなにか、特に重要な記述について調べる。pp.175～207
		事後学習	時代的な背景と歴史的な経過について整理し、まとめる。
第14回	わが国社会教育の歴史研究(7) —『現代日本の社会教育』第7章—	事前学習	第7章の主要な視点はなにか、特に重要な記述について調べる。pp.209～268
		事後学習	時代的な背景と歴史的な経過について整理し、まとめる。
第15回	学習支援と参加型学習 —調査、実習における研究・発表の方法、内容を決定—	事前学習	各地の社会教育現場を訪問して調査、実習するポイントについて理解する。
		事後学習	調査、実習した成果をどのようにまとめるか理解したうえで、自らのテーマ・課題を設定し、28～29回目に研究成果を発表する。
第16回	文献研究『参加型学習のすすめ方』(1) —学習プログラムのデザイン—	事前学習	参加型学習のすすめ方、とりわけ学習プログラムの作成について調査する。pp.4～43
		事後学習	実際に学習プログラムをどのように作成するか、その原則について整理し、まとめる。
第17回	文献研究『参加型学習のすすめ方』(2) —参加型学習の手法—	事前学習	参加型学習のすすめ方、とりわけ多様な手法について調査する。pp.46～91
		事後学習	多種多様にある参加型学習の手法について整理し、まとめる。
第18回	文献研究『参加型学習のすすめ方』(3) —参加型から参画型へ—	事前学習	参加型学習から積極的な企画立案を促す参画型について調べる。pp.94～112
		事後学習	参加型から参画型への意義について理解し、まとめる。
第19回	社会教育事業Ⅰ「学習プログラムの実際①」 —グループワーク：学習プログラムの企画・立案・実施・評価—	事前学習	具体的な社会教育事業として学習プログラムの作成に向けてグループワークを実施する。
		事後学習	学習者の学習動機に基づいた学習プログラム作成の要点について理解する。
第20回	社会教育事業Ⅰ「学習プログラムの実際②」 —グループワーク：学習プログラムの企画・立案・実施・評価—	事前学習	具体的な社会教育事業として学習プログラムの作成に向けてグループワークを実施する。
		事後学習	学習者の学習動機に基づいた学習プログラム作成の要点について理解する。
第21回	社会教育事業Ⅰ「学習プログラムの実際③」 —グループ発表：学習プログラムの成果—	事前学習	具体的な社会教育事業として学習プログラムの成果をグループ発表する。
		事後学習	学習者の学習動機に基づいた学習プログラム作成の成果をグループ発表する。
第22回	社会教育事業Ⅱ「ワークショップの実際①」 —ワークショップの実施、展開—	事前学習	学習者の合意を得ながら社会教育事業を進めるためのワークショップを実施する。
		事後学習	学習者の合意を得て社会教育事業を進めるためのワークショップの要点について理解する。
第23回	社会教育事業Ⅱ「ワークショップの実際②」 —ワークショップの実施、展開—	事前学習	学習者の合意を得ながら社会教育事業を進めるためのワークショップを実施する。
		事後学習	学習者の合意を得て社会教育事業を進めるためのワークショップの要点について理解する。
第24回	社会教育事業Ⅱ「ワークショップの実際③」 —グループ発表：ワークショップの成果—	事前学習	学習者の合意を得て社会教育事業を進めるためのワークショップの成果をグループ発表する。
		事後学習	学習者の合意を得て社会教育事業を進めるためのワークショップの研究成果を発表する。
第25回	社会教育事業Ⅲ「ディベートの実際①」 —ディベートの実施、展開—	事前学習	学習者の立場を尊重し理解を得る手法としてディベートを実施する。
		事後学習	学習者の立場を尊重し理解を得る手法としてディベートの要点をまとめる。

第26回	社会教育事業Ⅲ「ディベートの実際②」 —ディベートの実施、展開—	事前学習	学習者の立場を尊重し理解を得る手法としてディベートを実施する。
		事後学習	学習者の立場を尊重し理解を得る手法としてディベートの要点をまとめる。
第27回	社会教育事業Ⅲ「ディベートの実際③」 —グループ発表：ディベートの実施、展開—	事前学習	学習者の立場を尊重し理解を得る手法としてディベートの成果をグループ発表する。
		事後学習	学習者の立場を尊重し理解を得る手法としてディベートの成果を発表する。
第28回	学習支援と参加型学習（1） —調査、実習した研究成果の発表—	事前学習	各地の社会教育現場を訪問して調査、実習した研究成果を整理し、まとめる。
		事後学習	各地の社会教育現場を訪問して調査、実習した研究成果をまとめ発表する。
第29回	学習支援と参加型学習（2） —調査、実習した研究成果の発表—	事前学習	各地の社会教育現場を訪問して調査、実習した研究成果を整理し、まとめる。
		事後学習	各地の社会教育現場を訪問して調査、実習した研究成果をまとめ発表する。
第30回	まとめとふり返り —評価—	事前学習	これまでの演習の内容をふりかえる。
		事後学習	この授業での学習を今後どのように活かしていくかを考える。